

平成31年度 年間授業計画

- 1 学年・科目・単位数
第3学年 課題研究 3単位
- 2 担当教員
- 3 教科・科目のねらい
建築に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
- 4 年間授業計画 (各課題 年間105時間)

単元 (授業内容/時間)	重点項目	評価の観点
建築意匠・都市論	「建築マテリアルと町並みに関する研究 ～造形と街区の相関調査を通して～」 ・フィールドワークによる調査・研究を行い、その手法を学ぶ。・グループワークを基本とし、各グループで本校周辺の建築マテリアルの色と形について調査を行う。・グループごとに課題を設定し、報告書としてまとめる。・課題研究発表会にて、プレゼンテーションを行う。	⑥による
施工 (主に仕上、外構、躯体) ・都市論	校内環境整備および総合実習。内容の例を以下に示す。 ・塗装 (測量室壁・ピロティ床塗り替え) ・左官 (実務者による体験講習) ・外構 (施工室床の改修) ・躯体 (RC ラーメン構造: 鉄筋・型枠製作組立) ・内装 (壁・天井下地からクロス仕上げまで) など	
資格	2級建築施工管理技術検定合格を目指す講座。 この講座を受講する生徒は、学科試験のみ全員受験。	
模型	・建築模型の制作。 ・スチレンボード等を用い、2課題程度を目標に取り組む。 ・外観や周辺環境等の仕上げも工夫する。	
設計コンペ	大学または専門学校主催の設計コンペに取り組む。 正しく、丁寧に図面を書く。根気強く、図面を書き続ける。計画性を持って課題に取り組む。	
木造 (建築大工)	3級建築大工技能検定 (技能士) を受験し、合格を目指す。 10月頃より、土曜日に実技・学科試験の特訓を行う。	
CAD 製図	パソコンに関する資格取得や CAD での図面作成を行う。 例として、コンペ作品制作、CAD 検定など。	

- 5 使用教科書・副教材他
自作教材
- 6 評価方法・観点

課題研究は、基本方針として、生徒が自ら取り組むもので、そのためには授業に対して積極的に参画し、研究心旺盛に取り組まなければならない。以上の観点から、特に出欠状況と課題への取り組み方を見て評価する。また、課題研究発表会には、原則全員の生徒に発表させる。

※なお、上記は予定であり、行事等により一部変更になることがある。